



# 京ヶ峰の四季

第52号

2015年秋号



第52回 大運動会にて

## 曖昧を如何に生きるか

さわやかな秋風に時に冬の到来を感じさせるこの頃、グレーゾーンを如何に生き抜くかを考えさせられる出来事があった。では、なぜ表題を「グレーゾーンを如何に生きるか」としなかったか。秋といえば青空、秋を満喫している人に暗いイメージは避けたかったからである。しかし、これを読んでいただければ勘弁していただけたらと考えた。

医療機関においては周知の「医療事故調査制度」が、平成27年10月1日から施行された。これは平成26年6月18日の医療法改正に盛り込まれていた制度である。目的は、医療の安全を確保するために、医療事故の原因究明を行うもので、発生した事故の責任を追求するものではない。当院の医療安全推進委員会も、インシデント・アクシデントレポートを提出することによって、責任追及ではなく、業務の改善を図る努力をしている。業務の改善と言っても、外部の者が見れば「こうすれば…」と思っても内部ではなかなか気が付かないこともある。そんな時に、この調査制度を利用すると色々な客観的な意見が聞けるという訳だ。但しこの制度には、「医療従事者が提供した医療に起因する、又は起因すると疑われる死亡又は死産…」と生命に及ぶ事故を言っている。そんな大事故になる前に、私たちは日頃から小さなインシデントに如何に客観性を持たせるかを訓練すると良い。

最近ある料亭で食事を摂った時のこと、友人が食前に出されたお茶の食器に魚の臭いがすると訴えた。従事した者に伝えると、早速「申し訳ありません」と丁寧な謝罪を受けた。しかし、この時「この店は、この出来事をどう考え、どこを改善するんだろう」と思った。客観的な立場である私は、食器を洗う過程は一人かな、洗剤で洗う容器と水で流す容器は変えているかな、どこまで洗ったら綺麗になったと考えているかな…と知っているうちに、私の頭の中はいつの間にか当院の医療機材の洗浄に思いが走った。当院には清潔ゾーンと不潔ゾーンがあるが、あくまでもゾーンであるから床と空気は共有しており、洗浄・滅菌・保管の過程に一本の線で引けないグレーゾーンがある。このゾーンと戦うために何をすべきか、これが正しく感染防止の戦いである。最近、院内で吐物の片づけ方の練習をしたが、ここにもグレーゾーンがあった。「もしここまで汚染されていたら…」と考えると、吐物の片づけ・床の清掃・消毒のみではなく、全フロア・柱・天井・窓・電球と果てしない。結局、感染の間で生きる病院職員は、標準予防策・日頃の清掃の徹底を図り、グレーゾーンを少なくすることが生きる道となる。

看護局長 森 澄美江

基本理念

一人ひとりの患者さまの幸せのために  
～ For the Patients ～



# 精神保健医療福祉情報

## 第4回 デイナイトケア等家族懇談会のご報告

### 精神科デイケアとは

再発予防や退院促進の目的で、1940年代にカナダで「D・E・キャメロン」、イギリスで「J・ピエラ」が、それぞれ所属する病院で行ったのが世界で初めてと言われています。日本では1953年大阪府の民間病院で退院及び外来患者から希望者を募って

試み、その後、1958年に国立精神・神経センター(当時の名称は国立精神衛生研究所)で研究がなされ、その実績を元に1974年に診療報酬で点数化(医療保険対象)されました。現在では全国1,000ヶ所以上の病院やクリニックでデイケアが行われています。

### 当院では

当院のデイケアは1991年12月に開設されました。その後、当初の場所から変更して、現在のデイナイトケアセンター「スマイル」を開所しました。同時にデイナイトケア及びナイトケアも開設されました。現在は約190名の登録者で、1日平均50~60名が参加されてい

ます。『料理教室』『スポーツ』『作業活動』『手工芸』『心理教育』『SST』など約25種類のプログラムを行っています。



### 家族懇談会とは

デイケア等はメンバーが利用するだけでなく、ご家族のご理解や支えも必要です。日頃、メンバーが利用している「スマイル」をご家族に見ていただき、どのような活動を行っているのか知っていただくため、数年前から家族懇談会を始めました。毎回40~50人のご家族にご参加いただいています。今年(第4回)も平成27年9月5日(土)午後から開催し、37名(27家族)にご参加いただきました。前半にデイケア等の活動の

様子をスライドで説明し、実際に見学してもらいました。後半は滝川医局長が「よりよく理解して支援するために」をテーマに、お話をさせていただきました。その後の質疑応答では、自動車免許証の更新について、家族自身のストレスの対応などのご質問がありました。



家族懇談会を開催するにあたり、メンバーに事前にどのようなことを伝えて欲しいか話し合いをしました。

- 副作用はどのようなものか。
- 病気の原因や症状、具体的な種類。  
・イライラの解消法。
- 「病気の症状」と「怠け」の違い。  
・症状や目標などに合わせたプログラム。  
・どのようなことを頑張っているのか。
- 私自身を受け入れて欲しい。
- デイナイトケアも小さな社会であり、大変なこと。  
・家で余計なことを言わないで欲しい。  
・ケンカしたくない。  
・デイナイトケアでいろいろ身についていること。



### 参加者アンケートより

参加者の80%が60歳以上のご家族(主に両親)で、90%が今回の会を「ためになった」と答えられていました。また76%の方が今後として「1年に1回」の頻度で開催して欲しいと答えられていました。

### 【ご家族の声】

●いつもお世話になっております。ありがとうございます。生活面での心配事もありますが、本人を見守って行きたいと思えます。精神面は本人でないと、なかなか分からないことが多く、つい、きつい口調になり、後で謝りながら話そうに心掛けてはいるつもりです。

●デイケアのおかげで日々の生活リズムまた、人と相談することができるようになって感謝しております。またいろいろなイベントにも参加できるようになり、家族ともども喜んでおります。

●本人が毎回ちゃんとデイケアに行っているかどうかを疑って(本人に対する不安や不信感)いたので、先生方のお話をお聞きすることができ、安心しました。本人がデイケアを欠席し、どこかを徘徊しているのでは?と感じることもある。デイケアでどんなことをしているのか、様々な施設、作品などを見学し、理解することができた。もし本人がデイケアに出席していないようなことがあれば、連絡をしていただきたいです。

●デイケアのことをもっと知りたい。家に帰り何も話さないで...

今後もメンバーやご家族の声に耳を傾け、アンケートなどのご意見を参考にして、年に1回程度は開催をしていく予定です。

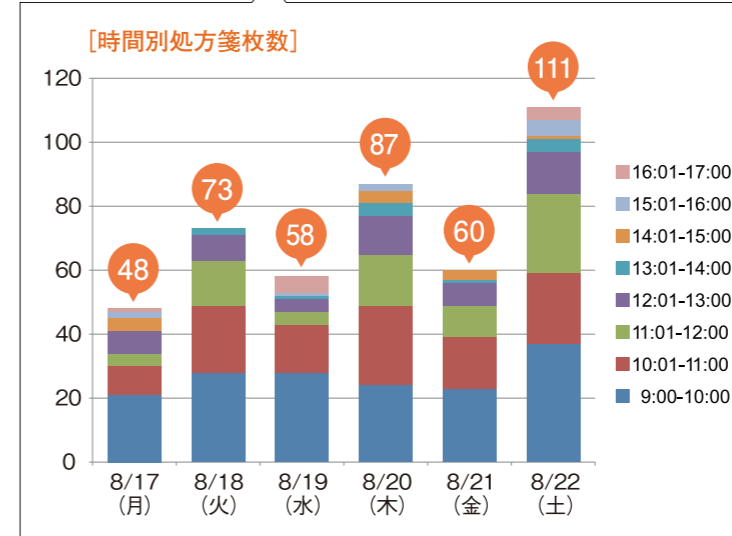


# 病院TOPICS

## 平成27年外来調剤待ち時間調査のご報告 調査時期:平成27年8月17日(月)~22日(土)

日付(平成27年)	処方箋枚数	待ち時間平均※1	最大待ち時間	最小待ち時間	全体待ち時間平均	平均投薬日数	合計調剤数
8月17日(月)	48	0:03	0:12	0:01	0:50	26.3	437
8月18日(火)	73	0:10	0:24	0:01	1:11	25.1	
8月19日(水)	58	0:09	0:20	0:01	0:54	25.3	
8月20日(木)	87	0:09	0:22	0:01	1:26	24.8	
8月21日(金)	60	0:05	0:11	0:01	1:02	26.4	
8月22日(土)	111	0:10	0:19	0:01	1:25	28.2	

※1:老人施設・職員除く



### 平成27年度考察

今年度の待ち時間は平均8分で、昨年度は平均14分でしたので6分短縮されました。

### 短縮された要因

- ①半錠の錠剤を採用した。
- ②昨年度に比べヒートシール包装希望者が増えた。
- ③新しい分包機の導入に伴い、錠剤のカセットを増やした。(今まで錠剤のカセットがなく手で錠剤をセットしていたものが、自動で分包されるようになった。)
- ④昨年度と比べ処方箋枚数が少ない。



## 栄養士から 季節のおすすめ

脂ののったサンマは秋を感じる身近な食材のひとつですね。塩焼きに大根おろしを添えて、またお刺身もおいしくさまざまな料理に使えます。みなさん、どのようにして食べるのがお好みでしょうか?



9月初め、お買い物中に見つけた時はやや高めでしたが、10月に入ると価格も落ち着いてきたような印象を受けました。数年前まではもっとお値打ちな魚だったような気がするのですが、最近は漁獲量が少なく店頭価格にも響いているようです。

サンマの脂には脳や血管の健康に良いDHA・EPAがたっぷり含まれています。また、良質なタンパク質、貧血の予防に良いビタミンB12、目や粘膜に良いビタミンA、その他ビタミンB2・D・E、鉄分・カルシウムなども豊富で栄養価の高い魚です。

お値段が少し気になる場所ですが、移ろう季節とともに旬のおいしさを楽しみたいですね。 栄養部 吉田



# 行事報告



**「ふかみ一座慰問公演」7月10日(金)**  
院内京ヶ峰ホールにて。歌や踊りに、会場が笑いに包まれるひと時となりました。



**「デイケア カラオケ」7月14日(火)**  
約60名で『シダックス』の10部屋を予約して、思い思いの曲を歌い盛り上がりました。



**「夏祭り」8月5日(水)**  
お天気にも恵まれ、盛大に終わることができました。大勢の皆さまのご参加・ご協力に心よりお礼申し上げます。



**「行事食」9月8日(火) 西病棟**  
今回はビュッフェ形式! ●ピラフ ●ウイナー ●ハンバーグ ●お好み焼き ●サラダ ●杏仁豆腐 ●コーヒー牛乳の中から、好きなものを自分でとって食べました。



**「第36回希望会作品展示バザー」9月2日(水)、3日(木)**  
金山総合駅連絡通路橋で行われました。参加施設は15施設あり、各施設60点~300点ほどの作品が販売されており、道行くお客さんに声をかけ盛り上がっていました。お客さんからは「毎年楽しみにしています」と嬉しいお言葉をいただきました。



**「第3回星城カップ(フットサル交流会)」9月7日(月)**  
『第1回ソーシャルフットボール全国大会(精神障がい者フットサル)』(平成27年10月3日(土)開催)のリハーサルを兼ねて、名古屋市にある『テパオーシャンアリーナ』で開催され、デイケアチームで参加しました。



**「行事食」9月25日(金) 葵2病棟**  
●ロコモコ丼 ●コンソメスープ ●コールスローサラダ ●冷やしクリームぜんざい ●コーヒー牛乳

## 今号のおすすめ

## 「食欲の秋～秋の美味しいものをおすすめ」

子供の頃の記憶のおはなしです。私の祖母はとても男っぽい人で、自転車に乗りいろんなところに出かけていました。川に魚釣り、山にキノコ採りや栗拾いなどなど、それはもう、とても活潑な女性でした。その中でも、特に栗のことをよく憶えています…祖母が茹でてくれた採れたての栗…いまよくある大きな粒の栗ではなく、小さな山栗でした。まだ子供だった私は、噛み付いて皮をむいて食べたものです。祖母が、その栗を砂に埋めて虫に食われないようにしていたことも思い出されます。まさに「おばあちゃんの知恵」ですね。

さてさて、私も大人になり美味しいものを求めてお出かけします…山には行きませんよ。この季節はやっぱり「栗」ですね。過去には、栗きんとんで有名なお店まで行って、並んでまでして購入したことがあります。「並ばないと買えないような栗きんとん」があることに驚きましたが、買って食べられた時はほんとうに大満足でした。

今年の狙いは「栗おはぎ」です。去年から狙っていたのですが、去年は出かけるまでにも至らず断念してしまいました。今年こそは、お店まで出かけてゲットしようと思っています。ちょっと遠し予約もできないところなので、早起きしないといけないのですが…。買って、食べて、「おいしい〜♪」と言って満足できたら、今年目標達成です。頑張って行ってきます!

葵1病棟 樋野幸江

※次号は、薬検部の兵藤さんが担当します。よろしく願います。



編集  
後記

朝夕肌寒くなり、紅葉の便りも届いて季節はすっかり秋になりました。「芸術の秋を目標に制作を」と思うだけで、美味しい果物や魚に見とれて困ってしまいます。皆さんはどんな秋にしますか?

リハビリ部 宇野

